

公開用

会議報告書

会議名	令和7年度第2回三郷市地域包括支援センター運営協議会			
日 時	令和7年11月17日（月） 午後1時30分～2時20分	場 所	東側別館第一会議室	
1 開会 2 議事 1) 審議 (1)三郷市地域包括支援センター職員の変更等について 【資料1、資料1-2】 (2)三郷市地域包括支援センターみさと中央の専門職欠員の対応について 【資料2】 (3)三郷市地域包括支援センターみさと南の所長兼務の対応について 【資料3】【資料3-1】 2) 報告 (1)令和7年度三郷市地域包括支援センター実地検査結果（報告） 【資料4】【資料4-1】 (2)令和8年度三郷市地域包括支援センターの受託意向調査結果（報告） 【資料5】 3) その他 3 閉会				
出席者	【会長】 清水弘文 【委員】 清水美代子、宍戸六郎、小林真人、南幸一、白石憲雄、岡田敏和、 上野あずさ、甲州優 【事務局】 益子いきいき健康部長、原山いきいき健康部理事兼副部長、 中村（一）介護保険課長、川原介護保険課長補佐 中村（洋）長寿いきがい課長、岡田長寿いきがい課副参事兼課長補佐兼地域包括係長、斎藤長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長、 福田地域包括係主任、大友地域包括係主任 【欠席者】 加藤明子 【傍聴人】 0人			

●審議事項における確認事項

議事	
1) 審議	
(1)三郷市地域包括支援センター職員の変更等について	・承認
(2)三郷市地域包括支援センターみさと中央の専門職欠員の対応について	・承認
(3)三郷市地域包括支援センターみさと南の所長兼務の対応について	・承認
2) 報告	
(1)令和7年度三郷市地域包括支援センター実地検査結果（報告）	・承認
(2)令和8年度三郷市地域包括支援センターの受託意向調査結果（報告）	・承認

令和7年度第2回三郷市地域包括支援センター運営協議会委員 議事内容	
1 開会	
事務局 (司会)	これより令和7年度第2回三郷市地域包括支援センター運営協議会を始めます。公私ともにお忙しい中、出席いただき感謝申し上げる。 開会にあたり清水会長からご挨拶をお願いする。
清水 弘文会長	本日も忌憚のないご意見をよろしくお願いする。
事務局 (司会)	ありがとうございます。 続いて、いきいき健康部長益子よりご挨拶を申し上げる。
益子 部長	<p>本日はご多用の中、令和7年度第2回三郷市地域包括支援センター運営協議会（以下「運営協議会」とする）にご出席いただき感謝申し上げる。また、日頃より本市の保健福祉行政にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げる。</p> <p>平素より、本市の高齢者福祉政策の推進、地域包括ケアシステムの構築のため、日々ご尽力いただき厚く御礼申し上げる。</p> <p>地域包括支援センター（以下「包括」とする）は、地域に暮らす高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、保健・医療・福祉の向上を包括的に支援する中核的な機関である。本日は、包括の人員配置に関するこの審議、実地検査の結果、来年度の受託意向についての報告等となっている。</p> <p>人員配置については厳しい状況が続いているが、公平・中立かつ適切な運営を実施できるよう、委員の皆様にはそれぞれの専門的知見やお立場に基づいた、活発なご意見ご発言をお願い申し上げ、本日の会議が有意義なものとなることを祈念し、挨拶とさせていただく。委員の皆さんには、忌憚ないご意見とご審議のほど、どうぞよろしくお願い申し上げる。</p>
事務局 (司会)	<p>配付資料の確認。</p> <p>【資料1】 【資料1-2】 【資料3】 【資料3-1】 【資料5】 【当日資料】 2枚は、会議終了後に回収するので、机上に置いていただくようお願いする。</p> <p>加藤委員は所用のため欠席である。</p> <p>審議事項(1)「三郷市地域包括支援センター職員の変更等について」、報告事項(2)「令和8年度三郷市地域包括支援センターの受託意向調査結果（報告）」については、三郷市情報公開条例第7条に該当するため非公開とする。</p> <p>なお、本日の傍聴人はいない。それでは以後の進行を清水会長にお願いする。</p>
清水 弘文会長	三郷市地域包括支援センター運営協議会設置規則（第6条）の規定により、半数以上の出席をもって会議を開催とあるが、本日は委員10名中9名の出席なので会議は成立する。それではこれより議事に入る。

2 議事	
1) 審議	
(1) 三郷市地域包括支援センター職員の変更等について 【資料 1】 【資料 1－2】	
非公開	
1) 審議	
(2) 三郷市地域包括支援センターみさと中央の専門職欠員の対応について 【資料 2】	
事務局	<p>審議事項 (2) 三郷市地域包括支援センターみさと中央の専門職欠員の対応について審議を開始する。現在包括みさと中央については、社会福祉士の欠員が8月から継続している。三郷市では、8月に欠員が生じたことにより、9月に法人へ採用計画を文書で依頼、採用計画進捗について確認している。10月にその後の採用状況等文書で回答依頼、実地調査と同日に理事長面談を実施している。</p> <p>この件について、委員から事前質問をいただいている。【資料 ご意見・ご質問】の質問番号1と2をご覧いただきたい。質問番号1は包括みさと中央から回答していただく。質問番号2 欠員については、3職種在籍していれば欠員に該当せず、相当職を配置していても欠員に該当しない。また、「90日経過後」の記載は、90日経過後に、契約時に取り交わした取り決めを根拠に委託料を精算するという話である。職員の欠員に関しては、【資料2】の職員欠員の要件に記載があり、月単位で考えているので参考にされたい。</p> <p>それでは、欠員になった経緯と現在の職員の状況、今後の採用の見通しについて、質問事項1の回答も交え包括みさと中央からご報告をお願いする。</p> <p><包括みさと中央報告></p> <p>7月末で社会福祉主事の石本が退職し、8月以降求人を出しているが、続くかたがおらず人員不足の状態が続いている。ハローワーク、埼玉県社会福祉協議会、その他の求人は継続して掲載している。同時にインターネットによる求人を12月以降掲載している。来年度4月以降の入職希望者がおり、早めに入職していただけないか打診したが難しいとのことで、4月以降の入職予定である。</p> <p>通常業務において困ることは、訪問が重なると事務所が空いてしまうので、急に来庁者が来ると今後対応に困るのではないかと予想される。デイサービスの職員にはその旨伝えており、早めに事務所に戻ること・後日早い段階で相談に対応できるよう考えている。また既定の会議については、既定通り開催できるよう職員間で話をしている。</p> <p>現在において、欠員が生じていることから、令和7年11月1日からすでに返還金対象期間となっている。今後、職員の欠員が解消されない場合は、欠員が補充されるまでの月が返還金の対象となる。</p> <p>この欠員と返還金の発生について、運営協議会で報告するとともに、返還金が発生することについて委員の皆様にご了承をいただきたい。</p>

清水 弘文 会長	<p>事務局の説明が終わったので、質疑に入るが何かご質問等あるか。</p> <p>人が少くなると仕事が大変になり、大変になると人が減る可能性があるので、今いる職員が退職することのないよう、職場の雰囲気作りを図っていただきたい。</p> <p>なければ審議事項(2)に対する質疑を終了し、事務局からの説明の通り了承してもよろしいか。</p>
委員一同	(異議なし)
清水 弘文 会長	質疑を終了し、次の議題に移る。
1) 審議	
(3) 三郷市地域包括支援センターみさと南の所長兼務の対応について 【資料3】	
【資料3－1】	
事務局	<p>今年4月から、包括みさと南の所長が、他の地域包括支援センター所長を兼務することになり、その体制について9月末までに専任体制を整えるとしているが、現在まだ整えられていない現状がある。本日包括みさと南の法人様がご出席しているので説明をお願いする。</p> <p><包括みさと南法人説明></p> <p>足立区にある包括の所長が5月末で退職した。2包括の所長の選任とそれ以外の事業所からの配置を模索した所、やむを得ず磯所長が兼務する形となつた。全国的にも人材不足だと思うが、現在看護師含め選任の3職種について欠員状態が続いている、どこの職場でも非常に厳しい状況が続いている。各職の募集については、足立区の包括の辞意表明があった時から職員募集をしていたが、反応がなくこのような状況に至った。現在、法人としての募集以外に包括としての個別の人材募集を複数媒体で実施しているが、まだ採用に至っていない。法人内の対応として、非常勤勤務者の勤務時間を増やすこと、法人内の居宅介護支援事業所の委託プランを大幅に増やし、現在いる職員の業務軽減を図っている。</p> <p>継続的な募集をしていたことから、求人の応募があり今月中に面談予定である。</p>
事務局	<p>令和7年度に限り、所長兼務については覚書を締結しているので問題はない。しかし、所長代理については仕様書で規定がないため、本日の運営協議会で、所長が復帰するまで所長代理でまかうことについて承認をいただきたい。</p> <p>令和8年度に向け、現在所長が体調不良で休職中なので、大変厳しい状況ではあるが、法人内でも早急に人員体制を整え、新たな休職者や離職者を出さないよう体制整備に努めていただくようお願いする。</p>

	また、三郷市でも必要人員数以上に人員配置をしている包括に対しては、何らかの手当てができないか検討をしているので、来年度の体制についてご尽力をいただくようお願い申し上げる。
清水 弘文 会長	事務局からの説明が終わったので、何か質問等あるか。
清水 美代 子副会長	既定の職種も確保できなかったのか。
健和会法人	既定の3職種は確保できている。管理者、所長が欠員している状況である。
清水 弘文 会長	どこも人材不足で大変だと察するが、人材確保にご尽力いただくようお願いする。 三郷市において、仕様書の規定がないようだがこの運営協議会で作るのか。
事務局	仕様書13ページの記載の通り、委託料について取り決めをしている。契約をする時に取り決めをしているが、所長が欠員になることを想定していなかつたので、委員の皆さまにご意見いただき承認していただきたい。
宍戸委員	所長の条件はあるのか。今いる包括の人材から所長をできる人はいないのか。
事務局	仕様書3ページ、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種のうち所長を1名決めるとしている。医療・介護・福祉の知識等が豊富で、その知識等を用いて包括に配置された職員に対し技術指導・助言等を行い、本事業を推進する意欲に富んだ者とする。
健和会法人	資格を持った職員は確かにいるが、包括の業務は非常に特殊であるため、経験豊富な人材でないと難しい。病院も人材不足で厳しい状況にあるため、包括に配置できないのが現状である。所長の業務は重い責任と負担があるため、今包括にいる人材から所長を無理に任命するのは、新たな退職者を生むことになると考えている。
宍戸委員	承知した。
南委員	包括みさと南の所長が休職したことは、恐れていた事態が起きたと感じている。人員確保と育成に関しては法人に委ねると記載があったが、受託法人だけの責任問題となるのか、三郷市としての見解をお聞きしたい。手当だけで解決するのかという懸念もある。また包括みさと中央については、4人必要な人材の所、3人体制で運営していることも心配している。他の包括の精神的負担も考えて、どのように考えているのか見解をお聞きしたい。
事務局	専門職と事務の加算ができるよう用意しているが、それだけでは足りていないと感じている。各包括をバックアップできるよう長寿いきがい課地域包括係も各包括担当を3名体制とし、体制を整えている。処遇困難なケースを対応している時には、一緒に訪問に行く・会議に参加し方針を検討するなど、丁寧に対応できるよう検討している。
清水 弘文	事務局の説明が終わったので、質疑に入るが何かご質問等あるか。

会長	なければ審議事項(3)に対する質疑を終了し、事務局からの説明の通り了承してもよろしいか。
委員一同	(異議なし)
清水 弘文 会長	続いて報告に移る。
2) 報告	
(1) 令和 7 年度三郷市地域包括支援センター実地検査結果（報告）【資料 4】 【資料 4－1】	
事務局	<p>令和 7 年度三郷市地域包括支援センター運営事業実地検査結果について報告する。実地検査では、令和 6 年度の実施状況についてヒアリングをしており、今年度の進捗状況についても確認している。</p> <p>【資料 ご意見・ご質問】に記載の通り、委員からご質問をいただいているので回答させていただく。質問番号 3 について、包括が行う実地検査によって、担当圏域の現状やニーズを把握しているかの質問に対し、包括みさと南と包括しんわで「はい」と回答していただいている。実際アンケート調査は実施していないが、現状やニーズは把握しているという意味で「はい」と回答している。</p> <p>長寿いきがい課地域包括係で実施している実地調査は、国が行う調査を基に回答内容を確認し、他の包括と違いがある場合は原因や内容を確認し、情報を共有し改善を導いている。個人情報の保管場所等を確認している。</p> <p>【資料 4－1】の Q20 については、お手元に配布している【R7 仕様書】の 3 ページ（4）に所長についての記載がされているのでご参照されたい。</p> <p>全体評価としては、記載のとおりである。</p> <p>総括に記載してあるような地域課題や個別ケース対応の困難さについては、三郷市としても相談支援体制について、複数名での地区担当制を取り、困難事例に対応するよう努めている。</p> <p>地域課題については、他課との協議が必要であるが、課題を吸い上げ施策へ繋げられるよう、地区担当の地域ケア会議の参加をはじめ、今後も検討ていきたいと考えている。</p>
清水 弘文 会長	事務局の説明が終わったので、質疑に入るが何かご質問等あるか。
(委員一同)	なし。
清水 弘文 会長	質疑を終了し、次の議題に移る。
2) 報告	
(2) 令和 8 年度三郷市地域包括支援センター受託意向調査結果（報告）【資料 5】	
非公開	

5 その他

事務局 (司会)	清水会長ありがとうございました。 次回日程については、令和8年2月16日月曜日を予定している。詳細が決まり次第事務局より通知をする。 閉会のことばを清水副会長からお願いする。
-------------	---

6 閉会

清水美代子副会長	以上で令和7年度第2回三郷市地域包括支援センター運営協議会を終了する。
----------	-------------------------------------